

協力隊だより・年間報告

成田善彦（なりた・よしひこ）

令和6年支援企業・名古屋市民休暇村
令和7年6月に卒隊



名古屋市民休暇村

1年目は、主に日常業務（フロント業務）に従事しながら協力隊活動を行いました。御嶽山の登山企画に帯同した事がきっかけでガイドの仕事をやってみたいと思う様になりガイドになる為のリーダーコースの受講をしました。引き続き登山企画に帯同させていただきながら資格取得に向けて勉強しました。

2年目から事業課に部署が変わりキャンプ場や、冬はシニアやこども向けのスキーの企画にも参加しています。卒隊後も休暇村で引き続き仕事をさせて頂きたいと思っています。

農業

合理化組合の作業をきっかけに王滝カブの作付を始め2シーズン収穫しました。卒隊後も農業を続けていくので、新たに圃場を借り作物を増やしていき現

在とうもろこしと米を作っており、秋ごろからカブやそばを作っています。合理化組合でのオペレーターや、圃場整備作業も続けていきます。

個人スキル

ガイドの資格取得し休暇村企画だけではなく、個人でも仕事を出来ればと思います。狩猟免許も取得しているので、農業をしていく上で有害鳥獣も重要な問題になると思うので活かしていきたいと思っています。

冬期はスノーボード準指導員の取得を考えおり、冬の仕事に繋がればと考えています。

最後に

6月末で地域おこし協力隊の任期が終了します。前述した様に任期中に色々な事を経験させて頂きそれを続けていきたいと思っています。このまま続けて王滝村で暮らしていきますので、宜しくお願いします！



高橋卓也（たかはし・たくや）

令和6年活動拠点…王滝村観光案内所
令和7年3月に卒隊



まほろば珈琲

珈琲の提供をきっかけに多くの人にとって居心地の良い空間作りを突き詰め村内外に幅広く認知していただくことができ、この2年間で約4000人の方々にコミュニティルームを利用して頂くことが出来ました。この活動をきっかけに多くの人と知り合い、気づけば王滝村をさらに好きになっていました。

またまほろば珈琲に訪れた方たちへ向けたイベントの開催をしました。夏はカヌーや川遊び体験に冬は焚き火と火おこし体験。希望の多かった珈琲セミナーも行いました。

木曽地域のイベントに出店させてもらうこともありました。上下流交流や御前崎と王滝村のイベントにも参加したり、観光案内所で自転車レースやマラソン大会のスタッフをやったりと幅広い経験を得ることが出来ました。

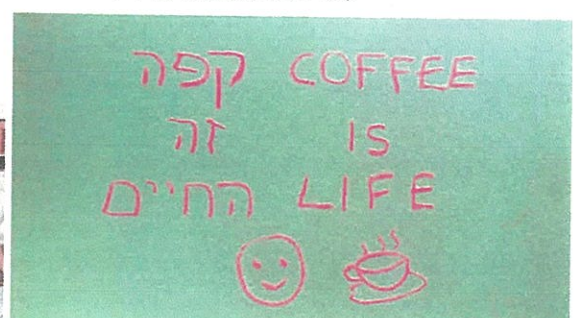
有害鳥獣の活動

王滝村で農作物の被害を減らすために狩猟関連の免許取得から動き始め、先輩猟師や猟友会メンバーに有害鳥獣駆除に必要な知識を教えてもらい、現場では実際に経験を積んでいきました。初めのうちは全く成果が出ずにいましたがコツなども教えて頂くうちに数頭ばかりの捕獲に成功しました。もっと技術を身につけて少しでも被害を減らしていけるように精進していきます。

定住後を見据えた農業活動

村に定住することを見据えた上で、農作物を育て、食糧自給率の向上を目指す事と自然環境に負担をかけず長く続けていくために肥料や農薬などには一切頼らない新たな農法の勉強と実践を繰り返してきました。この結果収穫できた作物は多く、これから先も自家消費できる範囲で続けていきたいと考えています。

海外の観光客や村人がまほろばに集まる。
訪れたイスラエル人が珈琲に感動してヘブライ語を黒板に書いた。



近藤太郎（こんどう・たろう）

令和6年支援企業：合同会社Rext滝越
令和7年3月に卒隊



3つのミッション

協力隊3年間を通じて3つを軸に活動してきました。

- ① 王滝村で学ぶ、暮らす
- ② 流域の関係人口創出
- ③ アート×暮らし

王滝村で学ぶ、暮らす

王滝村に暮らしながら村民主催のイベントに参加、または主催側に加わることで村民の皆さんと知り合ったり、村の雰囲気を感じる事が出来ました。村民運動会やお盆ふれあい祭り、神社のお祭り、ハーフマラソン大会など、イベントの運営やそこで醸成される交流を身をもって実感し村を知っていく事ができたと考えています。

また支援企業のレクスト滝越で活動することで外から訪れる沢山の学生や観光客と話す機会も多く、そこでの『繋ぎ』の役割を担うことで村を知ることにも多かったですように思います。

流域関係人口創出とアート

流域をテーマにプロジェクトやイベントを実施しました。南知多町から王滝村まで鯛神輿を運ぶプロジェクト、王滝村で流域をテーマにした展示会や演劇・音楽公演、日進市と南知多町の人と交流しながら旅するバスツアーの企画など県の元氣作り支援金や村の絆事業支援金を活用しながら実施させていただきました。

このような活動を通じて名古屋大学文化人類学の授業で講演もさせて頂きました。また2023年からはこの文化人類学の学生が毎年夏にフィールドワーク実習として村に滞在しています。

卒隊後の現在

王滝村に住み支援企業であった合同会社レクスト滝越で働かせて頂いています。流域の繋がりも継続し今年度と来年度はト

ヨタ財団の国内助成金を頂きながら活動しています。

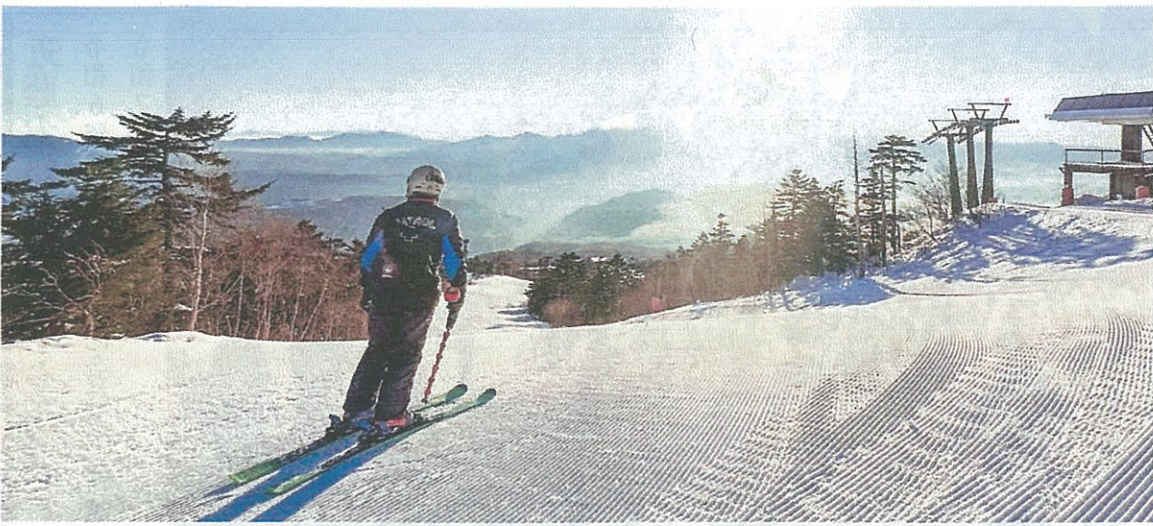
『流粋暮らしネットワーク』というプロジェクトで読書会やポッドキャストの配信、イベントの開催、名古屋大生やアーティストが村に滞在するお手伝いをしています。



アーティストが村に滞在しワークショップや演劇の公演を行いました。

泉由紀子（いずみ ゆきこ）

令和6年支援企業・株式会社シシ
令和5年度から活動開始



王滝村の皆さんこんにちは。

泉由希子です。王滝村の皆さまにはいつもご親切にしてくださいまして、誠にありがとうございます。おかげ様で王滝村での暮らしを存分に楽しみ、活動に励むことが出来ております。それでは、昨年度の活動報告をさせていただきます。協力隊の活動を行うにあたり自身に3つのミッション掲げています。

- 御嶽スキー場の継続・発展に繋がる企画提案と実行、マニュアル作成
- 王滝村・御嶽山の自然の情報発信、また保護活動（やまテラス王滝の活用）
- ライチョウの保護活動への参加・学習

これは私が協力隊に応募した時から唱えているミッションで役場の方、支援企業のシシさん伴走支援会社のレクスト滝越さんと共有しております。いろいろなことに挑戦させていただいておりますが、この軸がぶれることのないよう活動が続けてい

きたいと思っております。

グリーンシーズンの活動

スキー場ややまテラス王滝を活動拠点として、バードウォッチングを軸に沢山のことに挑戦させて頂きました。銀河村キャンプ場と田の原天然公園でのバードウォッチングイベントは14回開催し、ゆる活や木曽郡健康推進委員の研修会、御嶽山学習講座にも取り入れていただきました。また自然湖ネイチャーカヌーツアー、御岳湖カヌーツーリングとのコラボイベントを企画し、新たなアクティビティに展開することができました。合わせて、日本野鳥の会のオンライン野鳥講座を定期的に受講し、野鳥や自然の知識を深めるよう日々勉強しております。

また、昨年に引き続き火打山におけるライチョウ保護活動に参加させて頂き、ライチョウの実態や現在各地で行われている保護活動を勉強してきました。

ウインターシーズンの活動

引き続き、御嶽スキー場でパトリール業務に携わっております。業務はゲレンデの安全管理や怪我人の応急手当と多岐に渡ります。また、今年は積雪量が多かった為



村内の観光スポットで開催されるバードウォッチング。参加者はみんな真剣。

作業が多く、コース外滑走者も多く出てしまったため、苦勞しました。

スキー場オープン前には、パトリール業務のマニュアルを作成し職場環境の改善に努めました。また、田の原の監視業務もパトリールの大事な業務の一つで、今年1月に噴火警戒レベルが上がった際には、役場からの指示で警告看板を設置しました。

昨年に引き続き「おんたけゲレンデ探検隊」という高校生以下を対象にしたイベントをスキー場と企画運営しており、今年もたくさんのお子さんに楽しんでいただいております。

また、御嶽スキー場でお世話になる当初からの目標でありました公認スキー指導員の資格を、3度目の受験にしてようやく取得することが出来ました。ようやく次の目標に進むことが出来ます。

今年度の活動予定と目標

今年度も引き続きバードウォッチ

ツチンギイベントを開催していく予定です。開催時期やイベント内容など今年度の反省点を生かしさらに満足度の高いイベントにしていきたいです。また、卒隊後の仕事や生活を見据え、火山マイスターや信州案内人、スキーパトリールの資格取得に向けて準備を進める予定です。ライチョウの保護活動にも引き続き参加し、ライチョウの暮らす御嶽山で私たちが出来ることを模索していきます。御嶽スキー場の集客に繋がるイベントの拡大もスキー場と協力して行っていく予定です。

今年度は協力隊として最終年度となります。王滝村・御嶽山のさらなる魅力発信のために、私が出来たことを今一度整理して、より精度の高い活動に繋げていきたいと思っています。それでは皆様、今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

古川さゆり（ふるかわ・さゆり）
令和6年支援企業：合同会社Rext滝越
令和5年度から活動開始



王滝村も梅雨モードに入り雨の日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。「晴耕雨読」という言葉がありますが、一般的には、晴れた日は畑に出て耕作し、雨の日は家にいて読書するという意味として知られています。

その一方で、田ノ原の保全にも携わってくださっている方が、雨読とは本を読むむという意味だけではなく雨によって流れる水の流れを読むという考え方があったことを教えてくださいました。そうしてまた晴れた時に、地や田畑を整える。このような言葉には多様な意味があり、それが正解というわけ

ではない。だからこそ私も、何事も一つの意味や価値観に縛られずに、感性を柔らかく持ちながら日々を過ごしたいなと思っています。

今回の協力隊だよりでは去年の活動報告をさせていただきま
す。去年は、支援企業レクスト
滝越の元で、3つの軸を中心に
活動しました。

ビオスチム（発酵野草蒸し）

まず一つ目は、「ビオスチム

ム」と呼ばれる、発酵野草の蒸
気で身体を温める自然療法の提
供です。昨年7月頃から講座受
講し、施術資格取得後の秋頃ら



発酵させたよもぎや様々な野草を
参加者の手で混ぜ合わせる。

本格的に村民の方に体験してい
ただけるようになりました。免
疫の向上や体質改善のサポート
が期待できるもので、特に冷え
や女性の体調不良に悩む方に好
評でした。友達と癒しの目的で
来てくださる方、定期的に身体
の調整に訪れてくださる方など
それぞれのペースでご利用いた
だいています。

今年は、この王滝の土地で採
れる野草なども利用し、より王
滝村らしさのある施術にしてい
きたいと考えています。

グリーンシーズンの活動

2つ目は、レクスト滝越が受
け入れている海外ボランティア
団体「グリーンライオン」のア
テンドです。昨年数回、海外
から若者たちが王滝に滞在し、
村の暮らしや自然、文化に触れ
る時間を共に過ごしました。

外国人と関わることで、私自
身も「王滝村の良さ」や「自然
と隣り合わせの生活の難しさ」

をより客観的に考えるようにな
りました。そして、それらをど
のように伝えると伝わりやすい
のかという『説明力』も少しず
つ鍛えられた気がします。

ただ同時に、自分の英語力の
課題も実感しました。まだまだ
スムーズに通訳するには力不足
ですが、だからこそ、ことを
超えた交流の大切さや、日々の
小さな積み重ねの価値にも気づ
くことができました。

菌ちゃん農法

3つ目は自然農法の一つであ
る「菌ちゃん農法」の実践です。
この農法は、農薬や化学肥料を
一切使わず、落ち葉や朽ちた木
材などを利用して土壌の微生物
を元気にしながら行っていくも
のです。

一昨年の秋から取り組み始め
昨年は九蔵の畑で夏野菜を育て
てみたところ、思った以上に立
派に育ちました。その圃場は、
王滝村の中でも特に日照時間が

短く、寒い場所ですがそんな場
所でも成果が出たことで、王滝
村全体でも可能性のある農法だ
と確信しました。

現在把握しているだけでも村
内に4人の実践者がいます。今
年は勉強会やシェア会を開催し
もっと身近な家庭菜園として広
げていきたいと考えています。

他にも田ノ原湿原再生の活動
や味噌づくりワークショップの
麴作りなど、さまざまな挑戦を
通して、充実した1年間となり
ました。

今年は支援企業制度の変更に
より、私は役場直属となりました
が、内容は大きくは変わらず
これまで通り、王滝村の自然や
暮らしと向き合っていく予定です。
協力隊としての任期も残り
一年となり、卒隊後を見据えて
準備を進めながら、活動を重ね
ていきたいと思っています。
どうぞよろしくお願いいたしま
す。